

平成27年
(2015年)

冬号

大津・南部の農業

発行

滋賀県大津・南部農業農村
振興事務所農産普及課
草津市草津三丁目14-75
TEL 077-567-5421~5423
FAX 077-562-8144
メールアドレス ga35@pref.shiga.lg.jp
発行責任者 古谷 博幸

この印刷物は古紙/パルプを配合しています。

目次

- もっつつくろう「みずかがみ」！
- 6次産業化で、もうかる農業の実現に向けて
- 新たな花の栽培者・出荷者の育成に向けて
- 新規就農者支援
- 滋賀県立農業大学校就農科学生募集について

もっつつくろう「みずかがみ」！

「みずかがみ」は高温に強く、猛暑の年でも品質が安定する品種として農業技術振興センターで育成された品種で、平成25年から生産が開始されました。

本年度、管内では300名以上の方々が200haを超えるほ場で「みずかがみ」を栽培されました。今年は8月中旬まで非常に高温となりましたが、高温に強い特性が発揮され、一部の地域を除き一等米比率が80%を上回る良い品質となりました。今後も品種特性やほ場条件に応じた栽培により、一層の収量・品質の安定化を図ります。

県では関西圏を中心にテレビCMや店頭キャンペーンを行い、ブルーの統一パッケージで販売されている「みずかがみ」は、滋賀県のブランド米としてその知名度は徐々に向上しています。

さあ、みなさんも近江米の新ブランド「みずかがみ」を作付（拡大）しましょう。お問い合わせは当課まで！



みずかがみん



6次産業化で、もうかる農業の実現に向けて

～今からはじめる！6次産業化～

1. 6次産業化とは

農林水産業者が、生産（第1次産業）だけにとどまらず、それを原材料とした加工品開発（第2次産業）や販売、観光農園等（第3次産業）までを一体的に取り組んだり、地域資源を活用した新たな産業の創出により、所得の増大と雇用の確保をめざすものです。

6次産業化の構想をまとめた「総合化事業計画」は農林水産大臣の認定を受けることができ、認定を受けると計画の実施に必要な支援を受けやすくなります。この6次産業化総合化事業計画は、これまでに管内で11事業者（うち農業者9件）が認定されています。



2. 6次産業化プランナーによるサポート



6次産業化プランナーによる
新商品開発の支援

県では6次産業化にかかわる専門家を派遣し、事業計画の策定、新たな加工品の開発、加工用機械等の導入検討、新たな販売方法、新商品のデザインなどの個別相談を実施しています。まずは構想をまとめてみましょう。

詳しくは当課までご相談ください。



開発された自家生産の
もち米を使ったトマト大福

6次産業化セミナーを開催しました

～高知県馬路村農協の事例から学ぶ～

去る、10月15日守山市民ホールで「6次産業化でもうかる農業の実現に向けて」と題し、セミナーを開催しました。

人口約1,000人の過疎の村でゆずの6次産業化に成功し、年間34億円を売り上げる村の基幹産業に育て上げた馬路村農協組合長の東谷望史氏から30年以上におよぶ取組をご講演いただきました。

その中から、優れたリーダーの存在をはじめ①顧客獲得方法②馬路村を売るPR戦略③絶え間ない商品開発への努力など多くのヒントを得るとともに、継続することの大切さを改めて教えていただきました。



全体討議

新たな花の栽培者・出荷者の育成に向けて

大津・南部管内の農産物直売所で、地元産の花は、日持ちが良くボリューム感がある、季節の花が手頃な価格で購入できること等から安定した人気があります。

直売所での地元産の花へのニーズは非常に高く、生産と出荷の拡大が望まれています。

そこで、新たに花の栽培や出荷に挑戦される方が、楽しく、分かりやすく技術習得できるよう、管内のJA・直売所と連携し、実習を取り入れた研修会の開催を支援しています。

みんなで花を栽培しながら技術習得

JAおうみ富士・ファーマーズマーケット「おうみんち」

JAおうみ富士では、花に関心のある方が集まって一緒に花づくりの研修や交流ができる場所を作り、新しい作り手を見つけていこうとする取り組みが今年度よりスタートしました。

農産物直売所「おうみんち」の敷地内にあるビニールハウスとほ場を活用し、播種から開花までの一連の作業実習と講義を組み合わせた栽培研修会を開催しています。

第1作目は切花コスモスに挑戦し、機械播種やプランター栽培の研修を行いました。現在は、2作目として、小ギク栽培に取り組んでいます。



ラッピング方法を学び、育てた花を出荷しよう

JA栗東市・農産物直売所「田舎の元気や」

JA栗東市では、地元産花きの直売所への出荷拡大をめざし、花の組み合わせ方やラッピング方法を学ぶ研修会を開催しました。

当日は、参加者が栽培した花を持ち寄り、それらの花を使って花束を作る過程を見ながら、全体のボリューム（本数）、色の組み合わせ方、花の配置について研修しました。

実習形式で花束作りのポイントを学ばれ、翌日からの直売所には、早速、学んだことが活かされた花束が出荷されました。



新規就農者支援

当課では、就農おおむね5年以内の新規就農者の方を対象に、栽培技術と経営に関する個別支援と集合研修を実施しています。以下にこれから開催する研修会を紹介します。

他の新規就農者との交流もできますので、希望の方は当課までお問い合わせください。

① いちご研修会

いちご栽培のポイントとなる技術について情報交換を行うとともに、それぞれの栽培・経営上の課題解決に向けた取り組みを支援しています。

★2月上旬	・生育状況や今後の管理 ・課題解決に向けての取り組みの 成果発表
-------	--



② 土壌肥料・病虫害防除研修会

栽培管理の基本となる、肥料や土づくり資材の種類と使い方、土壌分析データの読み方、農薬の使用方法、発生しやすい病虫害の防除等について、テキストと実習を交えての勉強会を行っています。

★1月下旬	・土づくり資材の種類と使用方法 ・測定値に基づく施肥改善 ・化学合成農薬の削減技術 ・生産履歴の記帳
-------	---



③ 簿記講習会

技術習得とあわせて、経営管理の基礎となる「複式簿記の習得」を目指した集合研修を開催しています。

★12月中旬 (3日間)	・決算と決算書の見方 ・実際の現場の数字を活用して 経営分析に挑戦しよう
-----------------	--



滋賀県立農業大学校 就農科 学生募集について

県立農業大学校では、円滑な就農と安定した農業経営の実現を支援することを目的に、修業年限1年の就農科を設置しています。就農科には野菜・花き・果樹の3コースがあり、実習や講義を通じて就農支援を行っています。

願書受付期間は、平成27年12月14日(月)から平成28年1月15日(金)(必着)です。関心のある方は当課(電話077-567-5421)または農業大学校(電話0748-46-2551)へお問い合わせください。